

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成27年度取組結果】

団体名	北九州埠頭 株式会社
-----	------------

所管課	港湾空港局 港営課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>①ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の24時間365日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。</p> <p>②第3セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。</p> <p>③これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>業務の徹底した効率化、コスト削減を図るとともに、これまでの業務遂行実績や技術力による優位性を生かした競争力の強化を図る。</p> <p>また、自主事業の収益拡大に向けて、これまで培った高い技術力やノウハウを最大限活かしながら、大型荷役機械等の保守点検業務の受注に向けた営業活動やその他PR活動等に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	<p>年々、港湾施設の老朽化が進む中で、故障による稼働停止回数の増加を防止し、現在の水準を維持し続けるため、即応体制の強化と技術力の更なる向上を図り、利用者が24時間365日、いつでも万全な状態で使用できるよう維持管理体制の強化を目指す。</p>
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績 (太枠は最終目標年度)						
	H26 実績	H27		H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
		目標	実績				
施設の稼働停止回数(ガントリークレーン)	平均年11回/基	平均年12回/基以内	平均年10回/基	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内
施設の稼働停止回数(その他施設)	平均年1回/施設	平均年2回/施設以内	平均年1回/施設	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内
即応対応時間	平均1時間14分	平均2時間以内	平均56分	平均2時間以内	平均2時間以内	平均2時間以内	平均2時間以内

ミッションの遂行状況の評価 (平成27年度)

<p>団体における評価</p> <p>港湾荷役の生命線であるガントリークレーンについては、施設の稼働停止回数及び即応対応時間のいずれも昨年度を下回る結果となり、OJT等の実施による技術力の平準化や即応体制の強化により、施設の安定稼働について成果をあげることができた。</p>	<p>市の評価</p> <p>即応対応時間の削減に向け、過去の故障事例から、復旧までの過程を再度検証する社内勉強会を開催する等し、高い技術力の維持、向上を図っている。結果、今年度目標及び昨年度実績をいずれも達成し、港湾施設の常時安定した稼働を実現しており、信頼性の高い港湾運営に貢献している。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容</p> <p>ガントリークレーンの更新に伴い新しい制御技術が採用されていることから、これに即応するための新技術への対応力強化や新たな計測器等の導入による効率的な管理手法を構築し、施設の安定稼働を維持するため、更なる体制強化を図る。</p>	<p>団体への改善指導内容</p> <p>引き続き、即応体制の強化、更なる技術力向上及び人材の育成に取り組むよう指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>これまで蓄積してきた施設管理等のノウハウを生かし、平成27年度に、トンネル設備点検を受託(1件:13ヶ所)する等、自主事業の収益拡大を図った。また、地場企業の育成に積極的に関与し技術力のPRを図ることで、新たに技術支援の要請を受ける等、新規自主事業の受注に向けた営業成果が出ている。</p>	